

## 取組の概要

- 計画作成主体：伯耆町地域農業再生協議会、南部町農業再生協議会
- 対象品目：露地野菜（白ねぎ）  
(産地面積 30.5ha)
- 主な取組主体：農事組合法人等
- 成果目標：販売額の10%以上の増加  
基準 (H29年度) 710千円/10a  
目標 (R3年度) 781千円/10a
- 導入施設等：生産支援事業  
(農業機械のリース導入)

鳥取県西伯郡  
伯耆町、南部町



## ポイント

### 【取組の主題(テーマ)または課題】

鳥取県西部を代表する特産物である白ねぎについては、品質重視の栽培管理、出荷規格を作物ごとに厳守しており、出荷時には検査員体制を導入し品質管理の徹底を図っている。有利販売を行うため周年供給できる産地として地帯別の作付けを行い、地域の土壌・気象条件に応じた栽培管理に取り組んでいる。しかし、平坦地から中山間地まで栽培ほ場が分布すること及び作物との組み合わせにより求められる栽培管理が多様化し、水田転換畑での深耕による作土層の確保に加え、排水対策+灌水設備の導入など、課題が多岐に及んでいる。標高の高い地域では、降雪により、すべてを適期収穫できず、多くの収穫ロスが発生している。また、近年の異常気象により、乾燥対策として灌水技術の導入、長雨時の排水対策の徹底等を図る必要があり、機械設備の導入も必要となっている。

### 【産地の体質強化に向けた方策】 白ねぎ産地の形成の推進

栽培環境の改善を図り、適期収穫、機械化体系の確立による収穫ロスを最小限に抑えるとともに、地域に適した品種を導入することにより、単位面積当たりの収穫量を向上し、規模拡大を図ることによって、担い手農家の更なる経営発展につなげる。

## 推進体制

- 鳥取県(西部農林局等)
- 伯耆町、南部町
- 鳥取西部農業協同組合

指導・助言

- 伯耆町地域農業再生協議会、南部町農業再生協議会
- ①計画の策定・管理
  - ②取組計画への助言

情報共有

- 協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)
- 行政機関(県、町)及び農協によるサポート体制

- 農事組合法人等
- ①取組計画の作成
  - ②取組実施等

## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

- 県単独事業により、ミニ共同選果施設、農業機械等を導入。
- 地域に適した品種の導入、排水対策の徹底による単位面積当たりの収穫量の増加。

## 期待される事業効果

### 【事業実施による直接効果】

- 収穫機を導入することで、収穫作業時期を改善し、作業効率の向上と収穫ロスを減少させる。

### 【事業実施による間接効果】

- 機械化体系の確立を図ることで、1経営体の規模拡大に繋がる。
- 既存の共同選果施設を計画的に稼働し、出荷規格の厳守と秀品率の向上、品質の確保等を図る。

販売額が増加

～白ねぎの10aあたり販売額～

